

変化する巴波川

栃木南中学校一年 小関 夢乃

私の家の近くには巴波川が流れています。

小学生の時は、毎日巴波川の土手を通って通学をしていて、鯉が泳いでいる姿を見たり、学校の奉仕作業で巴波川の草取りをしたことがあります。また巴波川は町なかにも流れていて、五月にはこいのぼりがたくさん流ぐイVENTがあたり、舟があたりして、栃木市に住んでいる人だけでなく、観光に来る人も楽しませてくれます。

そんな楽しい思い出の多い巴波川ですが、一度だけ怖かったことがあります。それは二年前の関東東北豪雨です。いつも見ていた穏やかな巴波川とは違って、たくさん降った雨のせいで川の水があふれてしまい、家や田畑が水に浸かってしまった。たとテレビや新聞で見ました。私の親せきの家でも、野菜を作っている畑が水に浸かて、作っていた野菜がダメになてしまったり、家の床の下まで水が

来た話をお母さんから聞きました。私はいつも見ていた巴波川がこんなことになっていてと聞いてとても驚きました。また川は楽しいところという考えを持っていたけれど、怖い一面もあることをこのとき知りました。

あれから二年がたち、中学生になって、通学路も変わり、巴波川を見る機会は減り、川遊びなどもしなくなったので、今はあまり川への親しみがなくなっていました。なので今後は川に関するイベントなどに参加して

また川に親しみをもって見たいと思っています。そして、みんなが安心して川で遊んだりできるように、二年前の大雨のような川を怖いと思うことが起きなければ良いなと思います。